

こくさいこうりゅういん

国際交流員のおすすめ本

ほん

2021年
第2号



「こくさいこうりゅういん」ってなに？

「国際交流員」は札幌市のみなさんが外国のことを知ってなかよくするお手伝いのための仕事をしています。今はアメリカ、ドイツ、ロシア、韓国から来た4人のお兄さん、お姉さんが働いています。

札幌市には5つの姉妹都市があります。ポートランド(アメリカ)、ミュンヘン(ドイツ)、瀋陽(中国)、ノボシビルスク(ロシア)、大田(韓国)。全部覚えられるかな？



オリヴァー・ギールさん(ドイツ)

札幌の姉妹都市「ミュンヘン」からきました。

17歳で初めて日本の高等学校に留学し、1年間ホームステイをしながら日本語を勉強しました。

趣味は語学学習、写真撮影、映画鑑賞です。

フェシナ・アリヨーナさん(ロシア)

札幌の姉妹都市「ノボシビルスク」からきました。

高校生のときに初めて日本語を聞いて、言葉がまるで

歌のようだと思い、日本語を専門にしようと決めました。趣味は

カラオケと音楽鑑賞です。



ジョシュア・クロッツさん(アメリカ)

父の仕事の関係で、アメリカとヨーロッパのいろいろな町で暮らしてきました。

趣味はアメフトやラグビーなどのスポーツとクラシック音楽の演奏と鑑賞です。

保護者の方へ

札幌市では、市民の皆様の異文化理解のための活動や、姉妹友好都市をはじめとした海外諸都市との交流、札幌市の国際関係事業の企画立案などのため、海外から「国際交流員」を招致しています。札幌市国際交流員についての詳細は以下ウェブサイトをご覧ください。

(札幌市国際部ホームページ)



札幌市 総務局 国際部

※この冊子についてのお問い合わせは中央図書館利用サービス課(Tel.512-7320)へ

あたらしいこうりゅういんさんがきたよ!

10月から、新しく韓国かんこくの交流員こうりゅういんさんが仲間入りしました。札幌さっぽろへようこそ!

ヤン・スーミンさん(韓国)



札幌さっぽろの姉妹都市しまいとし、「大田市テジョンシ」から来ました。私は7歳の時さいとき、父のお仕事ちちしごとで日本にほんの小学校しょうがっこうに通った経験けいけんがあります。その当時とうじクラスメイトたちと文化交流ぶんかこうりゅうをしながら日本語にほんごと日本文化にほんぶんかが好きになりました。趣味しゅみは旅行りょこう、読書どくしょ、外国語がいこくごの勉強べんきょう、料理りょうりです。小さい頃ちいさから日本にほんで文化交流ぶんかこうりゅうの仕事しごとがしたいといつも思っていたので、札幌さっぽろに来る事ができて本ほん当とうに夢ゆめのようです!

かんこく 韓国かんこくってこんな国くに!

韓国かんこくは日本にほんの西側にしがわにある、隣となりの国くにです。大きさは北海道ほっかいどうの1.2倍ばいくらいであり大きくはありませんが、人口じんこうは北海道ほっかいどうの10倍ばいくらいですので、大きさに比べてとても人ひとが多いです。

韓国かんこくでは韓国語かんこくごを使って、字じを書く時はハングルという文字もじを使つかいます。韓国かんこくの首都しゅとはソウルです。札幌さっぽろとソウルソウルの間の距離あいだは約1,420kmで、飛行機ひこうきに乗ると約2時間30分やくじかんかかります。

韓国かんこくの主食しゅしょくは、日本にほんと同じく米こめです。韓国かんこくの食しょく事はご飯はんに汁物じゅうものといくつかのおかずがつくのが一般的いっぱんてきです!日本にほんと違うところは、韓国かんこくでは食しょく事をする時とき必ずお箸はしと一緒にスプーンすぷを使つかいます。また、韓国かんこくはキムチなど、辛い料理からりょうりがたくさんある事ことで有名ゆうめいですよね。でも全ての韓国料理かんこくりょうりが辛いわけではないので、みなさんもぜひいろいろな韓国料理かんこくりょうりを食たべてみてください!

かんこく 韓国かんこくってこんな国くに!

最近さいきん私わたしは札幌さっぽろ市しと大田市テジョンシの学生がくせいさん達たちがオンラインで交流こうりゅう出来るよう、その準備じゆんびをしています。交流こうりゅうの前に学校がっこうに行って韓国かんこくや大田テジョンについて説明せつめいしたり、両学校りょうがっこうがちゃんとオンラインで接続せつぞくできるかをチェックしたりしています!

札幌さっぽろ市しと大田市テジョンシは去年きょねん、姉妹都市しまいとしになってから10年ねんになりましたが、残念ざんねんながら新型コロナウイルスの影響えいぎょうで記念行事きねんぎやうじは延期えんぎとなりました。でも実際じつじに会あって交流こうりゅうする事ができなくても、学生がくせいさん達たちがオンラインで会あってお互いたがの文化ぶんかについてお話しはなしが出来できるって素晴らしいことですよ!交流会こうりゅうかいの日ひがとても楽しみたのしみです。



▲授業じゆぎょうの様子ようす

世界の本を読んでみよう!



オリヴァーさんのおすすめ!



『ヒトラーにぬすまれたももいろうさぎ』(J93/カ) ジュディス・カー/作・絵 松本享子/訳

1933年、ドイツ帝国。9歳のアンナの日々は激変する。

ユダヤ系ドイツ人であるアンナの家族は、政権を握ろうとしているナチ党のヒトラーを恐れている。劇作家・評論家であるアンナの父親は、ヒトラーに批判的な記事を書いて、それだけで拘束される可能性も高まる。出国できなくなる前に父はいち早く家族が住んでいるベルリンを抜け出す。アンナも母や兄と選挙の前の週末にそれに続いて、父とスイスのチューリッヒで合流する。

急いだ亡命で荷物是最小限にしなければならず、アンナは、大切にしていたももいろのうさぎのぬいぐるみを置いていくことにする。父はスイスで仕事を見つけるのに苦労して、生活が困難になる。希望をもってさらにフランス・イギリスへの亡命の旅が続いていく。

言葉のわからない国でアンナはももいろのうさぎを置いて行ったことをとても後悔している。なぜ9歳のアンナは、そこまで自分が生まれ育った国を逃げなければならないでしょう…

1933年～1945年の間、ドイツではナチス(ナチ党とその代表であるヒトラー)が権力を握っていました。ナチスは、何も悪いことをしていなくてもユダヤ人であるというだけでつかまえる法律を作り、そのためにたくさんのユダヤ系の人々がつかまったり殺されたりしました。

アンナとその家族は、ナチスから逃れるために急いで外国へ引っ越したのです。

また、『アンネの日記』で有名なアンネ・フランクも、ナチスによってつかまり命を落としたユダヤ系ドイツ人のひとりです。(図書館より)



保護者の方へ

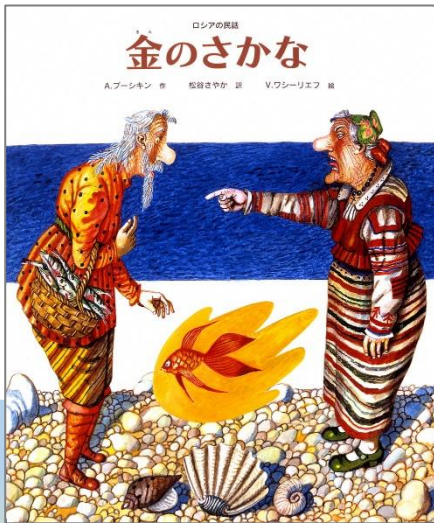
ジュディス・カーが1971年に英語で書いた小説が1973年にドイツ語に翻訳され、1974年にドイツ児童文学賞を受賞しました。それ以来、作者の自伝的小説であるこの児童書は、ナチスドイツが起こした犯罪や被害者の歴史勉強に重点を置くドイツの学校において、ナチズムや難民についての勉強のため広く読まれるようになりました。

ジュディス・カーは父親の早い段階で出国を決めたおかげで、ナチスによって多数の人々が送られて大量に虐殺された収容所を避けることができましたが、まだ子どもだったころの慣れない外国暮らしや言葉の通じないフランスでの学校などに苦労しました。

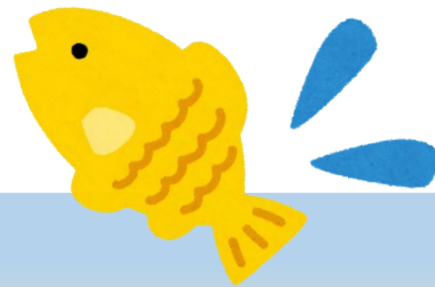
タイトルの「ももいろうさぎ」は、アンナ、そして作者の家族の失われた生活の象徴でもあります。



アリョーナさんのおすすめ!



『^{きん}金のさかな ^{みんわ}ロシアの民話』(J/キ)
A.プーシキン/作 松谷さやか/訳 V.ワシーリエフ/絵
偕成社



ある日、貧しいおじいさんは人間の言葉を話す金のさかなをとりました。金のさかなは、海に返すと、お礼にどんな願いでもかなえてあげると言いましたが、心の優しいおじいさんは金のさかなをそのまま海へ放しました。その話を聞いたおばあさんは、「せめてせんたくおけでももらってくりゃいいのに!」と怒り出しました。

おじいさんは海岸に戻って、金のさかなに呼びかけると、さかなが泳いできました。そして、おじいさんの願いをすぐかなえてくれました。しかし、おばあさんはなぜかまた怒り出しました…新しい家が欲しい、貴族になりたい、女王になりたいなど、あるものに満足できないおばあさんは欲望がどんどんエスカレートしていきました。気が弱いおじいさんは何度も海岸に行かされて、金のさかなはすべての願いをかなえてくれました。ところが、ある日おばあさんはありえないことを願いました…最後はどうなったのでしょうか?

保護者の方へ

ロシア近代文学の父と呼ばれるアレクサンドル・プーシキンの作品は、ロシアの読者に広く親しまれています。特に、詩の形式で書かれた彼の作品は言葉もリズムも優しく、子どもたちによく読まれています。1835年に出版した「金のさかな」もその作品の一つで、演劇や子どもの絵のテーマになることが多いです。主人公は願いごとをかなえてくれる不思議な金のさかな、素直で心優しいおじいさんと欲深いおばあさんです。欲求や欲望がとまらないおばあさんは、願いが実現しても、しばらくしたら飽きてしまい、怒り出します。また、周りの人に対する態度が悪化していくにつれ、海の様子が変わり、どんどん荒れるようになります。

お話の最後に、おばあさんはこわれたおけのそばに静かに座っています。このシーンはロシア語のことわざの起源となり、強欲だと幸せになれないし、最後に全部失うかもしれないという教訓的なアイデアが含まれています。

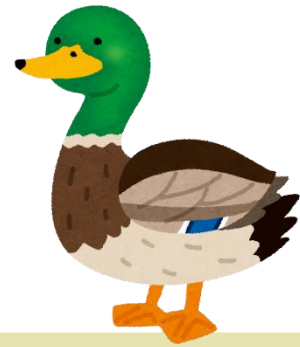
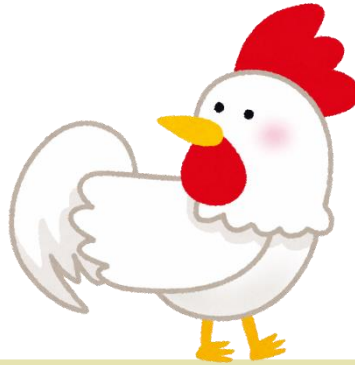
V.ワシーリエフ画家の独特な絵は登場人物の性格をよく表し、「金のさかな」は絵本としてとても魅力的で、読み聞かせにピッタリです。



スーミンさんのおすすめ！



『庭を出ためんどり』 ファン ソンミ/文 ピョン キジャ/訳



主人公のイプサクはとじ込められて毎日卵を産まなければいけないめんどりです。彼女にはいつか庭に出て、卵を抱いてかわいいひよこを持つという夢があります。元気がないイプサクが病気だと思った農場の主人は穴の中にイプサクを捨ててしまいますが、マガモの「旅人」に助けられてイプサクは無事に脱出します。

農場から追い出されてしまい、行き先が分からなくなったイプサクは偶然、まだ暖かい卵を見つけます。イプサクは卵の母親が来るまでその卵を抱いてあげることにします。旅人はそんなイプサクになぜか食べ物を持ってきたり、見守ってくれたりします。

しかし見守りの途中、旅人はイタチに狩られてしまいます。友達を失った事を悲しむ間もなく、イプサクにもっと驚きの出来事がおきます。イプサクが抱いていた卵から、彼女が夢見ていたひよこではなくアヒルのひなが出てきたのです。

イプサクはその卵の父は旅人で、自分の子供とその子を守ってくれるイプサクのために自分を犠牲にした事に気がきます。イプサクはそのアヒルを「坊や」と呼びながら、自分の力でひなを育てることにします。

庭から追い出された鶏とアヒルの子は、本当の家族になれるのでしょうか。

保護者の方へ

2000年に出版された「庭を出ためんどり」は、韓国の児童文学史上初めて100万部以上販売され多くの人に感動を与えたベストセラーです。この作品は韓国で小学5年生の国語教科書にも収録された事があるくらい、その文学的価値を認められています。

「庭を出ためんどり」は自由に対する意志、感動的な母性愛、成長して独立を迎える子供との葛藤などを主題として、読みやすく書かれた童話です。本の内容が少し重く感じられても、視線をとらえる挿し絵が内容を理解しやすくしてくれます。

この本は私が小学生の時、母と一緒に読んでいた本でもあります。普遍的な母性愛よりもなお美しい母性愛のお話をお子様と一緒に読んでみてはいかがでしょうか。

世界のお正月料理を知らう！



ジョシュアさんがお正月料理について教えてくれたよ！

みんなへの質問



これは、私がこどもの時、毎年お正月に食べていたものの写真です。お皿に何があるかわかりますか？

(答えは右の文を読むとわかるよ！)

日本ではおせち料理を食べる人が多いように、世界の多くの文化ではお正月に特別な食べ物を食べます。私の家族はアメリカの南部出身なのですが、南部にもお正月の特別な伝統料理があります。

私の家族では、1月1日の晩ご飯に、新年の幸運をもたらすとされる3つの特別なものを食べていました。

その3つの特別な食べ物は…

- ①Hog Jowl (ホッグ・ジョール)
→豚トロのようなしよっぱくて分厚いベーコン
- ②Collard Greens (カラードグリーン)
→ほうれん草・キャベツのような野菜
- ③Black-eyed Peas (ブラック・アйд・ピースズ)
→ササゲ。普通の豆の味

ホッグ・ジョールを食べるのは、健康をもたらすとされているからです。実は、アメリカではお正月に豚肉を食べる人が多いです。新年に豚肉を食べると良いと言われているのは、後ろ向きに歩きながら餌を食べる鶏や七面鳥と違って、豚はいつも前に進んでいるからで、それが新年に望むことでもあるからです。

お正月にカラードグリーンやササゲを食べる理由は様々ですが、私の家では、カラードグリーンは緑色(アメリカのお金と同じ色)なので、経済的な成功をもたらすとされ、ササゲは幸運をもたらすとされて食べています。

みんなの好きなお正月料理は何ですか？

図書館から本の紹介

みなさんは、写真を見てお皿に乗っている料理が何かわかりましたか？

アメリカでも日本でも、お正月には縁起のよい食べ物を食べて一年の健康と幸せをお祈りするのは同じなのです。

それぞれの国ではお正月をどのようにお祝いのするのか、また世界ではどんなご飯を食べているのか、本で調べてみましょう！

『国際理解を深めよう！世界の祭り大図鑑』(J38/セ)

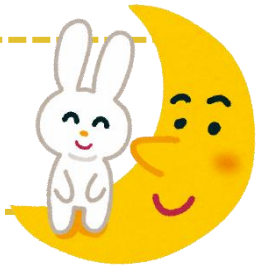
『絵本 世界の食事』シリーズ(J38/エ/1~25)



お手紙へのおへんじ

しつもん

みなさんの国では、月にはなんの動物が住んでいるとされていますか？
日本ではうさぎが住んでいると伝えられています。



韓国でも月にはうさぎが住んでいると言われます！そのうさぎはオクトッキ(玉兎)と言われます。うさぎが餅つきをしていると伝えられるところまで、日本と同じですね。でも一つだけ、日本と違う部分があります。韓国では月のうさぎは桂の木の下で餅をついていると言われます。韓国にはこれに関する有名な童謡、「半月(バンドル)」もあります。「青空わたる小舟には桂木一本、うさぎ一匹〜♪」

(スーミンさん)



アメリカでは、ほとんどの人が「Man in the moon」(マン・イン・ザ・ムーン 月にいる男)という表現を口にすると思いますが、たまに男(Man)ではなく女(Woman)に見える人もいます。そして月の下の方にある大きな点をネックレスの輝く宝石のように言うこともあります。

(ジョシュアさん)

ドイツでもウサギではなく、「男の人」が月にいる！と言います。もっと詳しく言えば、「薪をかつぐ男」です。最近あまり知られていないですが、昔話では、ある男が薪を盗んで、罰として永遠に月に追放されたと言っています。そして「月に人がいる」という伝説が、たくさんの小説のモチーフにもなりました。たまに、人の姿ではなくて、月を顔に例えることもありますよ！

(オリヴァーさん)



お月見の季節にいただいた質問です。すっかりお返事がおそくなってごめんなさい！
また、ロシアでは、他の国のような言い伝えは特にないそうです。

お手紙ぼしゅうちゅう！

国際交流員さんへ、みなさんからのお手紙を大募集中！

- ・おすすめの本文を読んだ感想
 - ・それぞれの国に関する本や、この冊子を読んで、交流員さんに質問してみたいなと思ったこと
 - ・この展示コーナーの感想
- など… お手紙を書いたら、赤い「せんようポスト」に入れてね。

みんなからの
てがみ
お手紙
まってるよ！

